



甲子園短大通信

甲子園短期大学 発行

開式後、木本好信学長から以下のような式辞がありました。『先月十一日、未曾有の大災害を被り、多くの方々が亡くなられ、また行方不明となられました。それに加えて福島第一原発からの放射能漏れという目に見えない恐怖に、いまもつて何万という方々が避難生活を送られています。阪神淡路大震災を経験した私達も人ごとではなく、心より哀悼の意を表する次第です。しかし、こ



四月四日、平成二十三年度入学式は、久米知子理事長はじめご来賓の方々のご臨席を賜り、学院高校講堂において執り行われました。開式に先立ち、三月十一日に起こった東日本大震災の犠牲者に対して全員で黙祷をささげました。

平成二十三年度 入学式



の傷ましい事態のなかにあつて、世界の人々を感嘆せしめたことは、諸外国では起こりがちな物資の略奪、奪い合いが一切なく、互いに労りあい、助けあう日本人の姿でありました。このような日本人の姿は、一三〇〇年前まで遡ることが出来ます。当時、施行された法律『大宝令』のなかの「戸令」第九条には「五家相ひ保れ、一人を長と為せ」とあり、五保という、近くに住む家五軒で保を編成して、責任者の保の長のもとに、互いに助け合う制度がありました。この五保の制度は江戸幕府の五人組の制度へとひきつがれてゆくのです。いま日本は、政治的にも混乱し、経済的にも不況から脱することができず、この度の東日本大震災という大きな困難にも直面しています。しかし、日本人が互いに労りあい、助けあう秩序ある行動をとる民族であるかぎり、必ずや日本の復興は成し遂げられるはずであります。みなさんはそれぞれの分野での専門の知識と技術の習得を目標に勉学に励むことになりませんが、その学生生活を有意義に過ごすための指針として、本学では、建学の精神を掲げています。今年七十周年を迎える甲子園学院の建学の精神とは、学院を創設された久米長八先生が、その理想とする人間教育の信条を集約実践した「黽勉努力」、「和衷協同」、「至誠一貫」の校訓三綱領であります。この校訓三綱領をつねに胸にとどめて、実りある豊かな学生生活を送っていたいただきたいと思えます。今にあ

この輝かしい伝統は、数多くの先輩たちが築いてきたものです。今春卒業した先輩たちの就職決定率も、この経済不況のなか、一〇〇パーセントでした。みなさんも先輩たちの輝かしい成果を目標に、勉学に励まれ、友情を育まれることを期待しています。』

これを受け、畠山恵里佳さん(生活環境学科)が新入学生代表としてお礼の言葉と「校訓三綱領である黽勉努力・和衷協同・至誠一貫の教えのもと、人格形成に努めることを誓います。」と宣誓があり、厳粛な中にも和やかに入学式を終えました。

フラワーフェスティバル in 西宮 園芸ボランティアと ガーデンコンベンへの参加



西宮市役所前の六湛寺公園で開催された、第十二回フラワーフェスティバル in 西宮において、五月二十一日と二十二日の二日間にわたり、被災地支援のための園芸ボランティア活動を行いました。

ポランテア活動では、「手作りポットでつながる輪」として、素焼き鉢にポスターカラーで色付けをしたかわい

いポットを販売し、売上金と募金併せて二万五千四百三十五円すべてを義援金としました。西宮市社会福祉協議会を通じて、日本赤十字社から被災地に送られます。制作と販売には、生活環境学科と幼児教育保育学科の学生約八十名が参加し、全学あげての被災地支援活動となりました。

フラワーフェスティバル in 西宮では、苗の販売、園芸教室など様々なイベントが開催されており、その中の一に「ガーデンコンベン」があります。本学の園芸部では、毎年「ガーデンコンベン」に作品を出展しており、今年も「テーマガーデン部門」に二作品、「コンテナ・ハンギング部門」に八作品をそれぞれ出展しました。園芸部の学生達は、放課後や授業の合間の時間を活用し、出展作品の制作を頑張っていました。「テーマガーデン部門」では、「収穫の喜び〜私のキッチンガーデン〜」というテーマで出展し、みごと銀賞を受賞しました。

また、「コンテナ・ハンギング部門」では、多くの出展作品がある中、四作品が銅賞を受賞しました。



音楽と花が好き



助教 岡田 準人

最近ではiPodなどの携帯音楽プレーヤーでいつも音楽を聴いている

人が多いですが、私も音楽が大好きです。いろいろなジャンルの音楽を聴きますが、新旧問わず「J-POP」が特に気に入っています。古くは中島みゆきから最近ではコブクロまで、音楽番組などでいいなと思う曲が流れたら、一緒に口ずさみながら番組を見ている。

音楽が好きになったのは、小学生の時の経験が影響しています。両親が釣り好きで、週末にはいつも家族で車に乗って海に出かけていました。その道中、車内で流れていた母親選曲の歌謡曲を聞いていたのが音楽好きのきっかけです。皆さんにもお気に入りの曲があると嬉しいです。私も、楽しいときや気分が落ち込んだ時など、いつも心の中で歌を歌うようにしています。

歌のタイトルや歌詞の中に、様々な花が登場することがよくあります。松田聖子の「赤いスイートピー」や一青窈の「ハナミズキ」など、数多くの曲で花が登場します。私にも、花に関する曲の中で好きな曲があります。SMAPの「世界に一つだけの花」です。横原敬之が作詞・作曲をし、花屋のワンシーンを通じて個性の大切さを歌った曲です。この曲の歌詞の中にこのようなフレーズがあります。「や」と店から出てきた その人が抱えて

My Favorites

皆さんも毎日聞くいろいろな音楽の中で、歌詞の中の好きなフレーズを探してみてください。そうすれば、何気ない日常生活の中にも、大切なことがたくさんあることに気づかせてくれます。

「気づき」というのはすごい能力です。例えば、「芸術家」の持つ才能とは何でしょうか。私は、絵をうまく描くなどの技術的なことだけではなく、「さまざまなものに価値を見いだす力」ではないかと思えます。道端に転がっている石がかわいいと感じることができれば、それも立派な才能だと思います。

毎日が平凡だと感じている人がいるとすれば、ぜひ何気ない日常の風景を少し見つけなおしてみてください。きつと小さな幸せがいっぱい見つかるはずですよ。

写真は大学院生時代に京都の鞍馬で撮影した杉の巨木です。樹齢が高い木に触れると、いつも人生の大先輩に会っているみたいで気持ち引き締まります。



高大連携講座が始まりました

本学の地域社会への貢献の一環として、また大学への関心を深めることを目的に、主に高校一、二年生を対象とした高大連携講座を提供しています。依頼を受けた高校へ教員が赴くのが原則ですが、本学での講座も用意してあります。

平成二十三年度の第一回目は、兵庫県立伊丹西高等学校でした。「看護・医療・保育・福祉」分野へ就職しようとする『総合ヒューマン類型』の一、二年生が対象です。

五月二十四日、田島准教授による「保育と介護のコミュニケーション」の授業が二年生対象に行われました。レクリエーション活動を通じて、コミュニケーション能力を高めるという内容で、生徒のみなさんは積極的に参加していました。



釣ると...

引き続き、五月三十一日には、大谷特任助教による「子どもの遊び・手作り遊び」の授業を行いました。子どもの年齢に応じた絵の発達やのりとハサミの使い方や、絵を描く道具の選び方などの講義の後、実際に子どもの発達に応じた作品を作りました。

また、兵庫県立尼崎高等学校においても、小学校教諭や幼稚園教諭などの教育者を目指す二年生を対象に、六月に連携講座を実施しました。高校生への授業から、教員も新たな見方と考え方を学び、大きな刺激となりました。高大連携講座の内容充実をさらに図り、地域社会と共にすすむ短期大学でありたいと考えています。

平成二十三年度 後援会総会開催

短大後援会総会が、五月二十七日午後一時半から、短大二階多目的演習室で開催されました。

大学側から木本学長ほか永藤学長補佐(幼児教育保育学科長)、土橋生活環境学科長、吉井教務部長、新宅就職部長等が出席しました。総会では、後援会会計の決算・予算が承認され、役員改選では、高橋理会長、今西正行会計、辰巳功会計監査が再任され、新たに橋本忠俊副会長、大久保慎司書記、佐藤誠司会計監査が選任されました。

その後、大学から本年度の行事予定や就職状況等の説明が行われ、最後に担任との個別懇談の場がもたれました。

甲子園短大通信 第71号

(編集・発行) 甲子園短期大学広報委員会
〒663107 西宮市林町四一五
TEL:079-815-3300 FAX:079-815-7911
http://www.koshien-c.ac.jp

学科	募集定員	区分	郵送願期間	窓口出願日	選考日	合否通知発送日	選考方法
生活環境専攻 生活環境学科	80名	A O 1 期	(エントリー期間) 6/14(火)～7/5(火) (出願期間) 8/31(水)～9/13(火)	9/14(水)	(課題説明日) 7/9(土) (課題提出締切日) 7/21(木) (入試相談日) 7/23(土)	(登録可否通知) 7/25(月) (合否通知) 9/20(火)	【AO入試】 課題作成、相談
		A O 2 期	(エントリー期間) 7/12(火)～8/2(火) (出願期間) 9/14(水)～9/27(火)	9/28(水)	(課題説明日) 8/6(土) (課題提出締切日) 8/18(木) (入試相談日) 8/20(土)	(登録可否通知) 8/22(月) (合否通知) 10/3(月)	【推薦選考・一般選考】 事前に学力テスト方式、自己推薦方式、資格方式から1つを選択(ただし、推薦4期は自己推薦方式、資格方式から1つを選択)。
		A O 3 期	(エントリー期間) 8/10(水)～8/30(火) (出願期間) 10/5(水)～10/18(火)	10/19(水)	(課題説明日) 9/3(土) (課題提出締切日) 9/15(木) (入試相談日) 9/17(土)	(登録可否通知) 9/20(火) (合否通知) 10/24(月)	【社会人選考】 自己推薦書、面接
介護福祉専攻 介護福祉学科	40名	推薦1期	10/18(火)～10/31(月)	11/1(火)	11/5(土)	11/7(月)	
		推薦2期 社会人前期	11/8(火)～11/21(月)	11/22(火)	11/26(土)	11/28(月)	
幼児教育保育専攻 幼児教育保育学科	100名	推薦3期	11/24(木)～12/6(火)	12/7(水)	12/10(土)	12/12(月)	
		推薦4期 社会人後期	1/6(金)～1/17(火)	1/18(水)	1/21(土)	1/23(月)	
		一般	2/1(水)～2/14(火)	2/15(水)	2/18(土)	2/20(月)	

◆平成24年度
学生募集要項決まる◆

平成二十四年度入試の日程が決まりました。甲子園学院関係者を対象としたファミリーツリもありません。詳細は入試部までお問い合わせください。

オープンキャンパスと
神戸コンチエルト船上での
大学説明会

平成二十四年度入試に向けてのオープンキャンパスは五月から八月にかけて九回行います。毎回、イベントや展示に工夫を凝らし、参加する高校生や保護者に本学の魅力と教育活動が伝わる内容になっています。

本年度は、オープンキャンパスに参加した人に、特製キュービーストラップをプレゼントし、大好評です。

五月二十一日は、ガーデンウェディングとティーパーティーを実施しました。六月二十五日は、園芸実習場でバーベキューも行いました。季節の花が咲き乱れる園芸実習場は、参加した高校生の歓声であふれました。

七月九日から、本館を会場にして実施します。共



2011 甲子園短期大学オープンキャンパス

開催日	イベント	内容
平成23年 5月21日(土)	ガーデンウェディング &ティーパーティー	学生が企画・立案した模擬挙式を行います。今年のテーマカラーは「ブルー」です。おいしいお茶もどうぞ!
6月25日(土)	園芸療法ミニ講座 &バーベキュー	介護・保育の仕事に役立つ園芸療法って何?ミニ講座で分かりやすく紹介。講座の後は、収穫祭を想定したバーベキューに参加しましょう。
7月 9日(土)	サマーカードをつくろう	受け取った人が涼しさを感じるようなサマーカードを作ります。簡単に楽しい紙工作にトライ!
7月23日(土)	おもてなしの フラワーパーティー (ワンプレートランチ付)	お花を使ったテーブルコーディネートと手作りのワンプレートランチで学生がおもてなし。楽しいひとときを過ごしませんか?
7月24日(日)	福祉・介護のお仕事	保育士や介護福祉士って、どんな仕事? 卒業生から仕事の深い話が聞けるかも。仕事体験コーナーへもぜひ!
7月30日(土)	先輩と語る ケーキパーティー	シェフの作る本格的なケーキを食べながら、先輩や卒業生から学生生活の本音を聞いてみませんか?
7月31日(日)	みんなで楽しむ レクリエーション	子どもから高齢者まで、誰もが思わず笑顔になる遊び・レクリエーション活動を一緒に体験しましょう。
8月 6日(土)	季節に合わせて ドレスコーディネート	四季に合わせた花嫁衣装のコーディネートにチャレンジしてみませんか? ドレスの試着もできますよ。
8月27日(土)	笑顔のコツを 学びましょう &立体絵本作り	百点満点の笑顔のコツを教えます! 簡単に出来るかわいい絵本作りにもチャレンジしましょう。

通イベントや展示、希望者には学生寮や生活実習ハウスの案内も行います。特に学生寮は、オープンキャンパスの前日や当日には、入寮体験も兼ねて実費で宿泊することもできます。

七月九日・八月六日は、A O 1 期・2 期入試の課題説明、七月二十三日は、A O 1 期の入試相談も同時に行います。

本年度初めての試みとして、六月十一日、神戸コンチエルト船上での大学説明会「クルージング in 神戸」を実施しました。船上から神戸の街並みや明石海峡大橋などを一望できるクルージングで、ティータイムを楽しみながら学科説明と入試概要説明、入試相談を行いました。

午後三時出港のため、高校の授業終了後の時間を利用して参加した高校生も多く見られました。

また、高校生とともに保護者や家族の参加もあり、係学生として参加した在学生との懇談にも話が弾んだ一日となりました。



命と家族の絆を実感する
生活環境学科

この度の東日本大震災では、未曾有の被害を目の当たりにし、「命」や「家族の絆」について、改めて考える機会ともなりました。生活環境学科でも、命の営みと生活を支援するために、「命」や「家族の絆」について深く考える授業を重視しています。

介護福祉専攻の二回生と、ブライダル企画コースの一・二回生の学生が、ターミナルケアと人間の尊厳を学び死生観を養うために、葬祭サービスを行う「エテルノ西宮」でフィールドワークを行いました。死者の尊厳を守り遺族の悲しみを大切に



また、介護福祉専攻二回生が、四週間にわたりグループホーム、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設で実習を行います。介護福祉士としての自覚を深めています。一回生は介護付き有料老人ホームで一日実習を行いました。その実習前学習として、「フォレスト垂水」の坂本豊

和施設長から、設備・行事等の映像を交えながら、介護付有料老人ホームでの介護について教えていただき、初めての実習に向けての心構えができました。

結婚式は家族の絆を築く第一歩です。ブライダル企画コースの一・二回生が、日頃の授業の成果を披露するために、五月のオープンキャンパスにおいて、園芸実習場で模擬挙式ガーデンウェディングを披露しました。その後、食と健康コースの学生が作ったクッキーなどで新郎・新婦を囲んでティーパーティーを行いました。オープンキャンパスに参加したたくさんの方の高校生の前で、戸惑うことも多かったですが、大きな感動を生む模擬挙式となりました。



エキウム一般公開と蜂蜜採取

平成19年のエキウム交雑種日本初開花から始まったこの一般公開も、今年で第5回を数えることとなります。

今年、5月11日、13日、14日に実施しました。昨年、日本で初めて蜂蜜づくり成功したエキウム・カンディカンス(マデイラ諸島原産)とともに、エキウム交雑種も併せて展示栽培を行いました。昨年同様、セイヨウミツバチ養蜂による蜂蜜づくりにも取り組んでいます。5月25日には、学院小学校の1年生児童を招待し、蜂蜜しぼりを行い、その様子は新聞(神戸、毎日)やケーブルテレビでも紹介されました。



質の高い保育者をめざす
幼児教育保育学科

二回生は、五月から六月にかけての三週間、教育実習に参加しました。一回生の保育所実習での経験を踏まえての幼稚園実習で、教材づくりや指導案作りに多くの時間を費やして準備をしました。実習では、園長先生や指導の先生をはじめ、子どもたちからも数え切れないほどの学びを得ることができました。

一回生は、八月の保育所インターンシップと来年一月からの保育所実習に向けて、西宮市立の保育所と甲子園学院幼稚園での観察実習を行いました。子どもたちの生き生きとした姿、保育者の子どもへの関わり方や保育環境のあり方など、これからの実践に必要なことだけではなく、社会人としてのマナーや服装、言葉づかいなどの重要性も学びました。

総合的な表現活動ができることも保育

者にも求められます。そのために広く社会で活躍されている専門家の先生から学ぶ授業も取り入れていきます。五月には、二回生が音楽表現活動の一つとして、元NHKの歌のおねえさんである衣川久美子さんから発声の仕方や表現技法を教えていただき、全員で音楽劇「どんぐりころころ」に取り組みました。一回生は、幼児体育活動に取り組みされている田中百合子さんによる、身体レクリエーションの特別授業を受講しました。さまざまなレクリエーションダンスやパラボリンをつかった身体表現を体験し、学生たちは、保育における身体表現の重要性を学びました。

学内だけではなく、フィールドに出る学習も大切です。幼児教育保育学科では、本物の芸術に触れることが、保育者としての感性を磨くだけでなく、保育現場での音楽会や生活発表会などの構成を考えるうえで参考にもなる活動の一つと位置づけて、コンサートや絵画を鑑賞する機会ももっています。六月には、一回生が兵庫県立芸術文化センターで行われた室内楽シリーズPAC パーカッションを鑑賞し、多くの打楽器による迫力ある演奏を楽しみました。

